

雪崩対策

雪崩とは：斜面の積雪が、重力の作用により肉眼で確認できる速度で、崩れ落ちる現象。

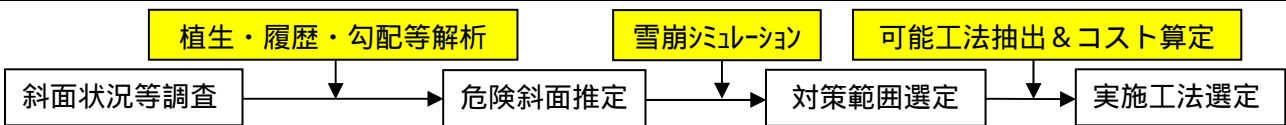
雪崩の区分： 表層 積雪表層が滑るもの。軽い雪に多い。全層に比べ到達距離は遠い。

全層 積雪全体が滑るもの。重い雪に多い。表層に比べ到達距離は近い。

雪崩斜面条件： 勾配が 30～60° 森林が生育していない 一定以上の積雪がある 等

(引用資料：防雪・除雪ハンドブック)

雪崩施設（選定）手順：以下のような調査・解析を行って対策施設の選定を行います。

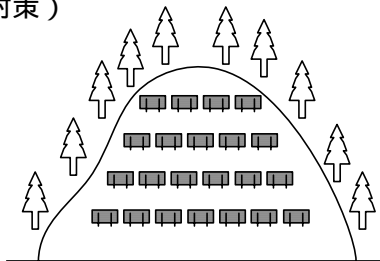
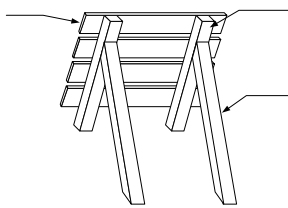


対策工法：代表的な対策施設図・写真です。その他、雪崩防護擁壁や雪崩誘導柵などもあります。

< 模式図 >

< 施設写真 >

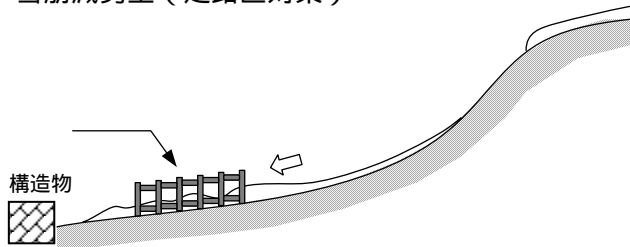
雪崩予防柵（発生区対策）



発生区対策
危険斜面の雪を抑え、雪崩の発生を予防する対策方法。



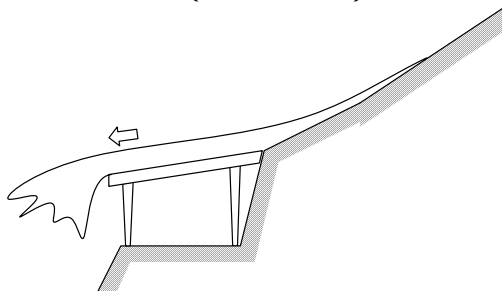
雪崩減勢工（走路区対策）



走路対策
発生した雪崩を構造物に到達させないよう、エネルギーを減勢する対策



スノーシェッド（堆積区対策）



堆積区対策
構造物に到達したデブリ（堆積物）から、構造物を直接防護する対策



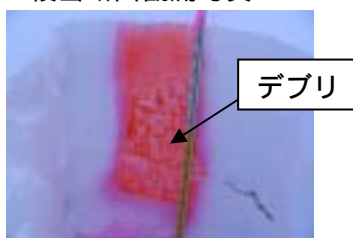
(引用資料：防雪対策施設事例集)

調査機器・解析事例：調査機器、および雪崩シミュレーションの模式図です。

雪密度計測



積雪断面観測写真



雪崩シミュレーション例

